

政策を問う  ここが聞きたい

公共施設を活用した 子どもの居場所づくりを

答 認められる団体であれば使用可能である



赤嶺奈津江 議員

問 運動部に入っていない等、体を動かす機会が少ない子どもたちがいる。学校の一般開放している時間帯に子どもの居場所として活用できないか。

教育長 児童生徒の学校施設利用は、教育委員会が認める機関及び団体と指定している。子どもの居場所づくりなど目的が明確で、複数の監督責任者・保護者により組織され、団体であれば使用可能である。

文化センター・20号壕の利用状況と休館日は

問 沖縄陸軍病院南風原壕群を多くの人に利用してもらいたい。維持管理の面から課題等はないか。

教育長 現在、20号壕は壁面にわずかな崩落がある。雨天時に19号壕付近から雨水が出口方向に流出している。南風原町文化財保護委員会に専門部会を設置し、今後の維持管理を検討する。

問 修学旅行などは、平日であることが多い。平日の休館は問題ないか。曜日ごとの利用者統計を取り、変更等を検討したことはないか。

教育長 文化センターは、企画展等イベントが開催される。社会教育施設として土日の開館が求められている。現在、休館日の変更等の検討をしたことはない。



陸軍病院壕の公開活用に取り組んでいます

問 文化センターの体制や開館時間等、調整が必要だと思う。きちんと確認をし検討してはどうか。

教育長 文化センターの運営を検討したい。その際職員の休暇の取得等が課題としてあるかと思う。そこも含め検討する。

世界のウチナーンチュ大会に向けての取組を問う

問 今年は、5年に1度の「世界のウチナーンチュ大会」が行われる。本町は、これまでも海外移住者との関係を深めるための交流事業を行っている。今回の「世界のウチナーンチュ大会」での本町の計画はどのようなものか。

教育長 現在のところ、10月28日に中央公民館黄金ホールで歓迎会を予定している。